

平成25年度

○第1回県政ひざづめ談議の結果概要

開催日時	平成25年5月15日(水) 午後2時15分から午後3時20分頃まで
対話テーマ	エネルギーの地産地消に向けて(企業における省エネ対策)
対話場所	甲府市丸の内 「県庁本館2階 特別会議室」
参加者	環境に関する企業連絡協議会 9名
参加者の 主な発言	<ul style="list-style-type: none"><li>・太陽光発電で晴れた日だけ自給自足というだけではなく、燃料電池と組み合わせて、エネルギーのスマート化という方向に進むのが効率的ではないかと考えている。</li><li>・太陽光発電は変動があるので、蓄電施設や揚水発電などで電気を貯めていく必要があるが、家庭へ蓄電システムが普及していけば、そうした問題はなくなってくる。</li><li>・バス路線が増えて、もっと通勤に利用されるようになれば、渋滞が減ることでCO2の削減にもなるし、歩くところが増えて健康にも良いと思う。</li><li>・太陽光発電に取り組みたいという需要は結構あるが、適地を探すのに苦労している。県で土地情報などを提供してもらえるとありがたい。</li></ul>  
知事の 主な発言	<ul style="list-style-type: none"><li>・エネルギーの地産地消実現のためには、長い努力が必要であるが、そのためには皆さま方の知恵とノウハウと技術が必要とされる。</li><li>・将来的には、スマートコミュニティとなるような住宅地の開発を実験的に行いたいですが、当面は、蓄電池をそれぞれの家庭に設置していくことが考えられる。</li><li>・民間企業では、空いている事業用地を非常に細かく発掘して太陽光発電を設置しており、感心している。</li><li>・協議会では、今までCO2削減をメインでおやりになっているが、それはエネルギーのことでもあるので、今後はエネルギーの地産地消についても、メインのテーマとしていただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</li></ul>  